

御岳 杣の小橋・あぶないエリア Ver.3.0

2022.12.4 まとめ改訂版 rctK

2016年の早春、発電所対岸から、杣の小橋を渡ろうと遊歩道を歩いていると、発電所側の駐車場の下に幾つかのボルダーが見える。今までトライしたことがなかったので黒本を確認すると、不記載であるため、登られていないボルダーだということが分かる。小橋を渡って確認しようと思ったが、2月中旬まで工事のため通行禁止ということで、神路橋から右岸の遊歩道を杣の小橋まで行ってみる。

ほとんど期待はしていなかったが、行ってみると、少し大きなボルダーが1つと、他に小さなボルダーが幾つか認められる。そのほとんどは苔や蔓に覆われている。少し整備をすれば遊べそうな感じなので、蔓や苔、藪を取り除き、下地を整備してみると、そこそこの課題ができそうなボルダーへと変身した。

このボルダーは対岸からは良く見えるのだが、北面で、夏は樹木や藪に覆われるためか、苔が多く、また、ボルダーが通らない場所で、遊歩道からも見えにくかったためかトライされなかったようである。駐車場から1~2分の位置にありながら、正に、「灯台下暗し」とはこういうことを言うのだろうか。

特にお勧めというほどのボルダーではないが、駐車場から近いので、他で登り、まだ時間がありそうな時にトライしてもらえれば良いかと思う。

エリアの命名については、ボルダー自体は危険ということではなく、直ぐ側に発電所の放水口があり、そこに柵などが無く落ちると危険で、上に「あ・ぶ・な・い」と大きく表示されているため、この命名となった。確かに放水口に落ちると危ないし、子供などは特に注意が必要である。

シーズンとしては、夏は樹木が多く、北に面しているため、結露が酷く、雨後の乾きが遅いと予想されるので、晩秋から春にかけてがベストと思われる。直ぐ上流側に広い河原があるので、家族サービスのついでに、遊びながらちょっとトライするというのもできないことはない。なお、車利用の場合、発電所側の駐車場は12月から2月の期間は無料、それ以外の期間は有料となる。

●各ボルダー課題

○A 岩(仮称:デンジャー・ロック) & B 岩(トボ左の岩)

A 岩はここでは一番大きなボルダーである。

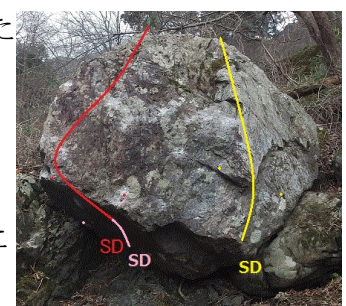
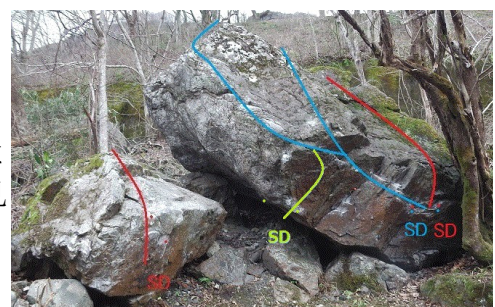
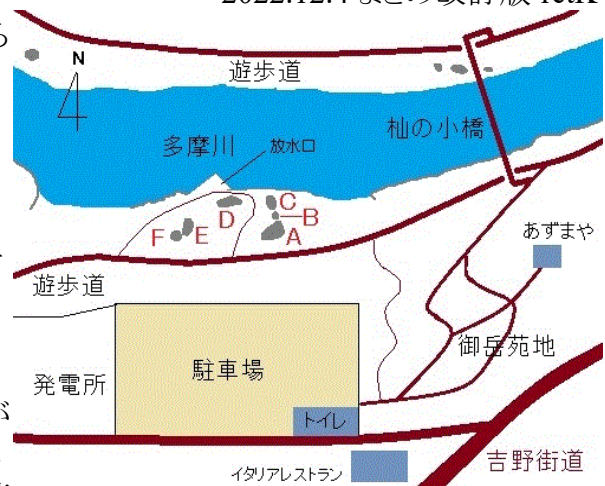
課題としては、右下からリップ付近を左上していくライン「デンジャー・ゾーン」(水色左)が面白い。スタートの上のガバは使っても構わないが、使わないほうがラインとしては素直に見える。

水色課題は、最初、右手を直接リップ付近に飛ばしていたが、なかなか止まらず、今回は右足ヒールで引きつけ、右上のガバを取ってみたら簡単に登れた。想定ムーヴと違うが、一応登れたことにした。

○B 岩はほんのお遊び程度。

○C 岩

スタンディング・ポジションから登ると易すぎるのでSDスタートにしたが、3つの想定課題のうち、2本(左)しか解決していない。



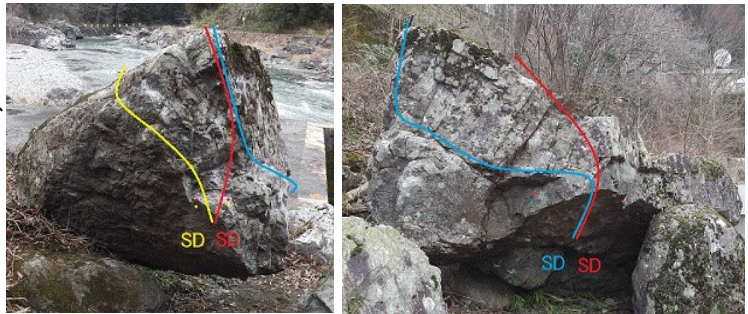
赤ライン(課題名:ノーソックス)は、リップのホールドから左手でカンテ裏左下のガバホールドを取り、後は、カンテとフェイスのホールドで身体を上げていく。最初左手はハング内のガバホールドを使ったが、トライ中に欠けてしまい左手をリップのホールドにした。欠けたホールドからでも掛かりが良いので、少し難しくなるが行けると思う。上に這い上がる時に落ちると左の岩にぶつかるので注意が必要。

左下奥のホールドからスタートする課題(ピンクライン)もトライし解決。核心はノーマル課題と同じで、左上のガバを取ってからハング上に這い上がる部分のため、ノーマルとのグレード差はさほどない。

想定課題のうち、中央の課題は未解決である。

○D 岩山側&D 岩川側

ハングのSD課題が何本かある。下地が石ころでガラガラしていたが、取り除きトライしやすいようにした。トラヴァースの課題では後ろの大きな岩との隙間を行くので、少し窮屈である。



○E 岩&F 岩

E 岩はきれいなカンテのSD課題「あぶないカンテ」(赤)が面白い。下の岩に腰かけた状態からスタートし、手はカンテ、足はカンテを使わずフェイスのみで登るが、カンテに足を置くと少し易くなる。

水色の課題は、左手はアンダー、右手はあまいカチでスタート。左足、右足と上げてから岩上にデッドする。

F 岩はSD課題が1本あるが、スタートの1手だけ。

